

希学園 第411回 小5公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第411回公開テスト 小5国語 解説動画(2026年8月2日実施)	https://vimeo.com/1214893809/f3ca19bd2d

1

野外で

わたしがか

人間が飼

四交る

ウ

カイコられて

(記述題)
ア 2 イ 1 ウ 2

入無洋

持参初頭

競争

関心意地悪

相談

生イ面宮姉ア

工お金で苦労

I 高校受 II 定期テ ウ

A ウ B ア C 工 D イ

配点		
10・11	2	1・2 各2点×12=24点
8	2	10 各6点×2=12点
その他		各4点×16=64点
		100点

2

1

2

紀元前二世紀の九州北部の遺跡から出土した絹織物が日本で作られたものであるということ。

(同意可)

深夜、こっそりと外出しようとしているところを両親に見つかってしまうこと。

(同意可)

① (沼田英治『人間と昆虫のこれからを考える』より)

1 説明的文章では、段落冒頭の一文がその段落の内容をまとめていることが多い。段落冒頭の一文がそれまでの話とは違う新しい内容になっていたり、あるいは比喩などをふくんだわかりにくい表現になっていたりする場合にはそれがどうしたことかと考えながら続きを読むことが大切である。

2 ——線②をふくむ一文を確認すると、「長年の間、餌を探して逃げ出すような幼虫…を捨ててきたために、現在のようなおとなしいカイコガになっていった」とあるので、——線②と対照的なのは現在のカイコガのことであると見当をつける。

3 家畜が馬や牛などの人間に飼われるかわりに労働力や食物をささげる動物であるを知っていれば答えの見当がつけやすかっただろう。その意味を知らなくとも、——線③の前に「勝手に逃げ出すような幼虫や成虫を」捨ててきたために、現在のようなおとなしいカイコガになっていった」と書かれているので、これが「遺伝的に改良を加えて作り出した」とことと意味がつながることをおさえよう。

4 問いに「——線④がふくまれる一文」と書かれていることに気をつけよう。「軽い」「丈夫」「つやがある」「さまざまな色に染めやすい」の四つである。

5 絹を中国から(ペルシャやローマ帝国などの)各地に運ぶことに関わる言葉である。「易」が「貿易」の「易」であることもヒントになるだろう。

6 「そのように貴重な昆虫ですから：中国からもち出すことは固く禁じられていました」と書かれている。国からもち出すことを禁じるような絹の利点とは何かを考えて選んでいこう。

7 「隠して」いた、つまり見つけたくない理由である。このあたりの意味の結びつきは通読時におさえておきたい。

8 日本で養蚕が行われていた証拠となることは何かと前の部分を読み返してまとめよう。

9 アは——線⑧のあとに「シルクロードの始まったころ、日本ではすでに養蚕が行われていたことになりました」と書いてあったので誤り。イは「二〇世紀シトウには…」で始まる段落に書かれている通りなので正しい。ウは本文の最後の段落に、現在では「カイコガの飼育目的」が「絹糸の生産よりも絹由来の素材の利用」や「幼虫に有用物質を生産させること」になっていると書いてあるので誤り。

10 一字が共通である対義語は、異なる一字が対照的な意味になっていることが多いので一字の意味や違いもふくめて覚えていこう。

11 a「持参」は「持」を「自」としてはいけない。b「初頭」の「初」はころもへんである。c「競争」は同音異義語の「競走」と取り違えないように気をつけよう。走って決着をつけるのが「競走」である。

② (伊坂幸太郎『Have a nice day!』より)※ 問題作成の都合上一部表現を改めています。

1 a「関心」は「寒心」や「感心」などの同音異義語と取り違えないように気をつけよう。b「意地悪」は「悪」は七画目の横棒をぬいて「要」の上のような形にしてはいけない。c「相談」は「相」を「想」としてはいけない。

2 X「生真面目」や「赤っ恥」など上に一字がついて意味が強まる言葉を覚えていこう。Y「お墨付き」は信用できる人や団体からきちんと保証されているということ。Z他にも言葉のあとにくっついて修飾語を作る漢字には「風」や「流」、「式」などがある。

3 「自慢できる」といったプラスの意味になっていることもヒントだが、——線①の前に「姉同様」と書いてあることも探す手がかりになるだろう。

4 つらい思いから解放され、心が軽くなったときに涙が流れる様子は他の物語でもよく見られるすがたであるので覚えておこう。

5 ふさわしくないものを選ぶことに注意しよう。エは——線②の次の行に「どうして泣いてしまっているのか、と私は動揺する」と書いてあることから、銃弾が当たったような痛みは感じていないと考えられるので誤りである。

6 なぜ励ましているように思えないのかは、◎の一文でほぼ説明されているので、□にはいる言葉をその前のエンドウさんの話から考えればよい。母親は一流大学を出たのに今はお金で苦労しているのであった。

7 ◎の一文にそって、私が重荷に感じているものを答えればよい。——線⑤に続くエンドウさんとの会話のはじまりに、「たぶん、受験が心配なんだと思う。勉強、自信がないし。今、定期テストの勉強も重なってるでしょ。」と悩んでいることについて話していた。

8 「方言的な言い回しがあるのかも思った」というのは、すぐには意味が飲みこめなかったということである。デパートの入り口に飾られている銅像に跨るといのは、常識的な行動とはいえない。

9 B・C・Dはあとに続く会話文とつながるものを選ぶべき。Bは続く会話文が「夜？」とあるのでア、Cは「内側にいれておきたい」と続くので「外に…」じゃない。E、Dは「十九時半閉店らしいから、その少し前」とつながるのでイがそれぞれはいる。

10 ライオン像に跨ることができるかどうかの相談をしているところだが、——線⑦の段落ではそのために深夜の外出が可能かを検討しているところであるので、ここでの失敗とは深夜の外出に限ったものとなる。

11 ライオン像の場所については、「仙台駅の西口方面には」で始まる段落にくわしく書かれていた。東西に走る大通りの最も北にある通りを駅側から西へ十分ほど歩いた交差点の、建物ひとつ分南にある連絡通路でつながった本館の入口である。